



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	187,456	△0.0	6,036	6.6	6,309	7.5	3,625	14.9
29年3月期第2四半期	187,550	40.3	5,661	15.4	5,869	10.3	3,155	16.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,406百万円(35.1%) 29年3月期第2四半期 3,260百万円(29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	71.65	—
29年3月期第2四半期	62.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	247,759	94,956	37.4
29年3月期	263,540	93,632	34.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 92,702百万円 29年3月期 91,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
30年3月期	—	0.00			
30年3月期(予想)			—	61.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 4円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	4.0	16,900	5.3	17,100	3.8	10,000	6.3	197.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	50,834,700株	29年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	235,568株	29年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	50,599,132株	29年3月期2Q	50,428,560株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界各国の景気回復が進む中、設備投資の改善や失業率の低下等に伴い、景気持ち直しの動きが続きました。

当社グループの属する医療業界におきましては、来年の診療報酬・介護報酬のダブル改定を控えるとともに、少子高齢化に伴う医療費の高騰や疾病構造の変化、最先端医療への対応等、中長期的視点での投資や変革が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業において下期に偏重している大型プロジェクト案件の一部が前倒しで計上されるとともに、介護系メーカーも順調に推移いたしました。また、ライフケア事業や調剤薬局事業における業績の積み上がりも順調であったこと等により増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は187,456百万円（前年同四半期連結累計期間比0.0%減）、営業利益は6,036百万円（前年同四半期連結累計期間比6.6%増）、経常利益は6,309百万円（前年同四半期連結累計期間比7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,625百万円（前年同四半期連結累計期間比14.9%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、全体的に下期に偏重している病院完成案件の一部が期初計画より前倒しで計上されました。また、介護系メーカー製品の販売が順調に推移いたしました。

この結果、売上高は31,629百万円（前年同四半期連結累計期間比13.3%減）、セグメント利益（営業利益）は2,662百万円（前年同四半期連結累計期間比19.5%減）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に計上した大型M&Aに伴うアドバイザー費用の影響が無くなるとともに、昨年受託が集中したSPD施設の運用が改善され、順調な稼働状況となったこと等により増収増益となりました。

この結果、売上高は129,756百万円（前年同四半期連結累計期間比2.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,578百万円（前年同四半期連結累計期間比49.2%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居率の改善が進んだこと、赤字施設の運営が改善したこと等により収益が改善いたしました。

この結果、売上高は11,168百万円（前年同四半期連結累計期間比6.4%増）、セグメント利益（営業利益）は406百万円（前年同四半期連結累計期間比24.4%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、M&Aや新規出店が奏功し、業績は順調に推移いたしました。

この結果、売上高は12,579百万円（前年同四半期連結累計期間比6.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,346百万円（前年同四半期連結累計期間比28.9%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営及び理化学機器の販売が概ね計画通り進捗いたしました。また昨年グループ入りした警備系会社の業績が期初より寄与いたしました。

この結果、売上高は2,322百万円（前年同四半期連結累計期間比35.7%増）、セグメント利益（営業利益）は143百万円（前年同四半期連結累計期間比174.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は247,759百万円となり、前連結会計年度末と比べて15,781百万円減少いたしました。その主な要因は、建設仮勘定が3,846百万円、現金及び預金が2,966百万円、商品及び製品が1,882百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が26,599百万円減少したこと等によるものであります。

負債は152,803百万円となり、前連結会計年度末と比べて17,104百万円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が2,031百万円、電子記録債務が1,070百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が19,657百万円、未払法人税等が1,915百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は94,956百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,323百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が3,035百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が740百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が3,625百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は37.4%（前連結会計年度末比2.7ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは10,019百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比3,101百万円収入増）となりました。これは主に、仕入債務が18,814百万円減少し、法人税等を4,348百万円支払った一方、売上債権が26,634百万円減少し、税金等調整前四半期純利益を6,265百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6,020百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比1,587百万円支出増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が178百万円、長期貸付金の回収による収入が177百万円あった一方、有形固定資産の取得による支出が4,651百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,609百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,066百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比5,139百万円支出増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が7,300百万円あった一方、配当金の支払額が3,035百万円、長期借入金の返済による支出が4,755百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて2,928百万円増加し、51,590百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成29年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,444	52,410
受取手形及び売掛金	95,657	69,058
電子記録債権	1,920	2,658
リース投資資産	4,057	3,966
商品及び製品	11,669	13,551
仕掛品	1,328	1,992
原材料及び貯蔵品	840	880
その他	9,590	9,727
貸倒引当金	△78	△72
流動資産合計	174,430	154,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,972	14,724
土地	15,222	15,446
建設仮勘定	5,716	9,562
賃貸不動産(純額)	14,186	14,055
その他(純額)	3,385	3,288
有形固定資産合計	53,483	57,077
無形固定資産		
のれん	10,912	11,159
その他	1,296	1,172
無形固定資産合計	12,208	12,331
投資その他の資産		
長期貸付金	10,172	10,059
その他	15,793	16,716
貸倒引当金	△2,563	△2,600
投資その他の資産合計	23,402	24,175
固定資産合計	89,093	93,584
繰延資産		
株式交付費	16	0
繰延資産合計	16	0
資産合計	263,540	247,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,307	66,649
電子記録債務	16,192	17,262
短期借入金	2,020	1,620
未払法人税等	4,120	2,205
賞与引当金	1,905	1,884
その他	15,831	17,108
流動負債合計	126,377	106,730
固定負債		
長期借入金	36,146	38,177
退職給付に係る負債	2,548	2,617
資産除去債務	362	367
その他	4,472	4,909
固定負債合計	43,530	46,072
負債合計	169,908	152,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,716	23,716
利益剰余金	51,059	51,649
自己株式	△448	△448
株主資本合計	89,881	90,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,459	2,199
為替換算調整勘定	47	32
退職給付に係る調整累計額	△3	△0
その他の包括利益累計額合計	1,503	2,231
非支配株主持分	2,247	2,253
純資産合計	93,632	94,956
負債純資産合計	263,540	247,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	187,550	187,456
売上原価	167,470	167,116
売上総利益	20,079	20,340
販売費及び一般管理費	14,417	14,303
営業利益	5,661	6,036
営業外収益		
受取利息	166	163
受取配当金	73	86
負ののれん償却額	120	116
貸倒引当金戻入額	42	1
その他	222	167
営業外収益合計	624	535
営業外費用		
支払利息	156	123
持分法による投資損失	7	1
為替差損	115	17
その他	136	119
営業外費用合計	416	261
経常利益	5,869	6,309
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	88	—
その他	0	0
特別利益合計	88	2
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	49	10
投資有価証券評価損	32	27
厚生年金基金脱退損失	208	—
その他	8	4
特別損失合計	298	46
税金等調整前四半期純利益	5,659	6,265
法人税、住民税及び事業税	2,498	2,372
法人税等調整額	△63	208
法人税等合計	2,435	2,580
四半期純利益	3,224	3,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,155	3,625

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,224	3,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	740
為替換算調整勘定	△49	△21
退職給付に係る調整額	△0	2
その他の包括利益合計	35	721
四半期包括利益	3,260	4,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,191	4,353
非支配株主に係る四半期包括利益	69	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,659	6,265
減価償却費	1,268	1,215
のれん償却額	1,039	846
負ののれん償却額	△120	△116
持分法による投資損益(△は益)	7	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	141	△46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	44	52
受取利息及び受取配当金	△240	△249
支払利息	156	123
売上債権の増減額(△は増加)	27,224	26,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	△434	△2,443
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,382	△18,814
リース投資資産の増減額(△は増加)	17	91
その他	256	685
小計	10,595	14,244
利息及び配当金の受取額	236	246
利息の支払額	△154	△122
法人税等の支払額	△3,759	△4,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,917	10,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△121	△136
定期預金の払戻による収入	126	178
有形固定資産の取得による支出	△3,231	△4,651
有形固定資産の売却による収入	5	3
無形固定資産の取得による支出	△273	△75
短期貸付けによる支出	△16	△22
短期貸付金の回収による収入	16	20
長期貸付けによる支出	△0	△2
長期貸付金の回収による収入	187	177
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却及び償還による収入	231	101
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,587	△1,609
その他	235	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,433	△6,020

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,805	△400
長期借入れによる収入	1,700	7,300
長期借入金の返済による支出	△3,543	△4,755
社債の償還による支出	△15	—
配当金の支払額	△2,717	△3,035
非支配株主への配当金の支払額	△40	△46
リース債務の返済による支出	△108	△123
その他	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,073	△1,066
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,454	2,928
現金及び現金同等物の期首残高	35,518	48,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,973	51,590

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	36,490	126,992	10,497	11,858	185,838	1,711	187,550	—	187,550
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,228	966	14	915	3,125	13	3,139	△3,139	—
計	37,719	127,959	10,511	12,773	188,964	1,725	190,689	△3,139	187,550
セグメント利益	3,305	1,058	326	1,044	5,734	52	5,786	△124	5,661

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△124百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△115百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,629	129,756	11,168	12,579	185,134	2,322	187,456	—	187,456
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	720	532	91	1,192	2,537	42	2,579	△2,579	—
計	32,349	130,289	11,260	13,772	187,671	2,364	190,036	△2,579	187,456
セグメント利益	2,662	1,578	406	1,346	5,994	143	6,137	△101	6,036

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△101百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△101百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。